

## 令和5年度 外部評価結果 グループホームパインの森

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に掲示し、申し送り担当職員は夕方のミーティングで復唱し毎日再確認しながら、日々その理念に基づきケアにあたっている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年度までは新型コロナウイルスの影響で外部との交流が難しかったが、今年は近くの小学校運動会見学や、隣接特養と併設小規模多機能ホームとの合同の夏祭り企画、町内の交流参加も予定している。	自己評価では地域との付き合いがあまり出来ていないとの評価であったが、コロナウイルスオミクロン株の発生にてやむを得ないとの意見であったが、その後隣接特養との合同夏まつり企画の他、町会長より町内会の夏まつりに招待いただき参加した。		特養との合同夏まつりは大雨の為、中止になったものの企画やそれに伴う催しものの準備、練習を入居者さまと共に行った。来年こそは盛大におこないたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例年、運営推進会議メンバー様と昼食試食を兼ねて食事会を行ってきており入居者ともなじみの関係を築いていた為、意見が出しやすい。運営推進会議のメンバーは変わっていないものの、入居者はこのコロナ禍で会議を中止していた間で多少の入れ替わりもあった為、バーベキュー等で再開をしたい。	以前は食事会開催にて食事と共に中、会話が弾む事もあったが、しばらく会う機会がない間、新しく入居した方もいるため、また元の様に食事会やその他の行事で交流を図りたいとの意見が多い。運営推進会議での外部評価開催以前から意見はたくさん頂いていた事で外部評価も抵抗なく開催できている。		昨年の外部評価で、食事会や行事、交流会の再開を目標とし企画までおこなったが、食事会も中止となった。来年開催するにあたって今年室内でホットプレートを使用し行ったのでスムーズに行えると思うし早めの企画にて感染時期を避けながら確実に行いたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議を通じご意見を頂きサービス向上に活かしてきた。不明な点や報告事項は必ず市へ電話や出向くなどして連携をとっている。社会福祉協議会及び民生委員、地域包括支援センター等連携を取り合っている。	今回地域包括支援センターへの相談がなかった事であまり出来ていないと自己評価したが、運営推進会議では色んな相談を聞いていただいた。又、職員の権利擁護勉強会を依頼し開催した。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に職員の勉強会を開き知識を深めたり、事例を元にどのように取り組むか話し合ったり、業務の見直しを行いながら、取り組んでいる。グループホーム合同勉強会でも2回身体拘束について勉強会を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来年度は虐待の勉強会も加えて、充実していく。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束を含む虐待について、虐待に繋がる恐れのある事例については、常にミーティングや会議等で話し合い、内容の共有、意見交換、アイデアを出し合い、工夫しながら介護にあたっている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	パインの森独自の職員勉強会の題材に設け、社会福祉士よりアドバイス頂きながら勉強会を行っている他、法人内のグループホーム合同勉強会の題材でもある為、包括支援センターへ講師を依頼し9月勉強会を行う予定である。過去にはご家族様より相談もあり受けている。			理解が難しい権利擁護について、包括支援センターへ相談、「権利擁護～初級編～」を題材とし、zoomを用いた研修、勉強会をわかりやすく説明して頂いた。必要な方への支援を案内、誘導していく。
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約には十分な時間を設けてはいるものの、コロナ禍で手短かになりつつある為、十分に理解が得られるよう説明し、最後に理解の再確認を行っている。特に改定時は早めに連絡を取っている。			本人、家族が本当に納得できた契約を結ぶため時間を十分にとってきた。これからも信頼関係を大事にしたい。
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誰でも自由に投函できる意見箱を設置し、代表に報告した上で、運営推進会議や職員会議で話し合っている。又更に月1回の面会時には通信に担当職員のコメント付きで状態報告行ったり、その他毎月1回自治会を設け入居者の意見を聞いている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言いやすい環境作りにも今後も努めていく。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は法人の会議の場や事業所の会議に出席し自由に意見を出したり、提案を聞く機会を設けている。職員と管理者との個別面談の実施にてやりがいに繋げたり業務改善しながら働きやすい職場環境の整備に努めている。			普段から雰囲気の良い環境作りに取り組んでいるため、今後も働きやすい職場環境でありたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパスを設け、職員各々積み重ねてきた経験や実績を踏まえ、将来のレベル到達の見通しを明らかにしている。又、年2回人事考課と個別懇談を実施し、賞与や昇給へと反映させ向上心に繋げている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外部研修に思うように参加できない中、工夫を凝らしリモートや書面での開催をしスキルアップを図った。管理者は年1回必ず認知症に関する研修に参加し、内容を職員に伝えている。今年度からは徐々に元に戻す。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルス5類への移行により徐々に元に戻りつつある為、情勢に合わせてながら、外へ出向っていく。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で感染拡大が懸念されている中の外部との交流はお互いにリスクが大きかったものの、法人内での勉強会やリモートでの研修を通じ意見交換の機会を設け実施した。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者と共に一緒に何かをする機会を多く設け、入居者個々のレベルに合わせた作業を行ってもらったり、時には入居者全員と職員で花壇や畑作りなど共同作業で行っている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月必ず1回以上の面会をお願いし、友人などの面会の際、再来をお願いしてきたが最近までコロナ禍の為ご家族様以外の面会は殆どできていなかった。今後は忘れる事のない様、定期的な面会をお願いしていく。	運営推進会議の中で町会長から町内会の夏まつりの招待があり参加した。地域の方や知り合いとも会えていたが、久しぶりの外出により戸惑いや疲労感もあったが、何よりもストレス解消となった。		「高齢者でなくてもコロナ禍の規制でずっと外に出ていないと一歩出るのも不安になる。」と会議での話であった為、今後少しづつ、散歩や畑作りで慣らしていきたい。

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が会長を務める自治会組織があり毎月1回自治会を開き、普段は言えない意見や要望の反映に努めている。伝わりにくい又は伝える事が苦手な方は真意を表情で汲み取る。意見や要望は職員全員に伝えられ共有し、叶えにくい希望については話し合いそれに代えられるものはないか話し合う。			自治会長を務める入居者さまのいきいきした表情、意見を述べる皆さまの活気、決定するときの喜びなど、自治会を開催して良かったとつくづく思う。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	半年に1回、カンファレンスを行い本人の意向を基に職員や看護師の意見の他、月1回の面会時に日々の状態を家族に伝えた上で要望を聞き意見を取り入れながら本人主体の本人の為に介護計画を作成している。計画作成担当者が介護を兼務する事により、見える問題や自立支援の目標も増え、良い介護計画書を作成する事が出来ている。	今年度7年ぶりの弘前市運営指導が実施され、ケアプラン等も見ていただく。指摘事項もなく運営推進会議ではその旨報告している。外部評価では十分できているとの評価であった。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者による月毎の状態や状況、変化等のまとめを実施、そこで見える問題点を毎月の会議にて共有し話し合い、決定事項は職員全員に周知し統一した介護を目指している。毎日の記録は誰が見ても分かるよう記録している		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の記録も細かく取っており、モニタリングを担当者と計画作成担当者として2重に行っている旨、運営指導で評価された。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1回の面会をお願いしており精神安定に努めている他、得られない場合は事情により本人と共にこちらから出向ける体制も整えている。新型コロナの影響で一時的に中止しているも遠方からの面会者などに対応し、家族や知人等の宿泊も可能であり寝具や食事の提供も出来る。	我々認知症多機能型共同生活介護事業所を、どのように多様化すれば良いのかわからず、自己評価はあまりできていないとしたが、外部評価の話し合いでは十分に出来ているのではないかの結論となった。実際、併設されている小規模多機能型居宅介護事業所とは、お互いに事業所紹介したり利用に至っている。		以前は遠方の親類、知り合いの方に布団や食事の提供をし、宿泊する事もできた。コロナで現在は実施していないものの、再開できればいいと思う。

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議等で得た知識を活用したり、地域包括支援センター等にも相談、権利擁護事業の理解に努めている。又、その他のサービスを理解して頂く為に本人、家族、その他の来園者にも情報提供を行っている。	先にも記載したが、権利擁護について包括支援センターに講師を依頼し、zoom 活用にて勉強会を行った。		必要があれば、地域の方々にいつでも情報提供でき、地域包括支援センターに繋げる事もできる。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族が受診対応する場合はサマリーを作成し医師や家族、ホーム間で情報の共有化が密に出来る様に努めている。入居時かかりつけ医への通院としているも、本人、ご家族様希望の際は嘱託医への連絡、情報提供等しながら移行とする。			今までも、受薬受診と診察等、主治医その他の医師の指示通り行ってきた。医療機関の都合もある中、時世に沿った受診を行っていく事とする。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や家族、担当ケアマネとの連携を密にし情報の共有化を図り、家族や主治医へサマリーや口頭での詳しい状態報告を行いながら、本人や家族にとってより良いケアとなるように調整、連携を密に行っている。入院中も主治医や看護師と連絡を取り退院の調整も行う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療連携体制を法人の嘱託医や連携看護師による協力体制を整え、24時間の対応が可能である。入居の契約時の説明文書を改め、安楽な介護を目指す為、本人の状態により特養への転居も考慮していく。その為、本人の意思も早い段階で確認しておき、転居の際の連絡等も代行する。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約時既に終末期の在り方について話し合っている。入居時と年数経過後には意向が変わっている事多々あるため、定期的に再確認も行っている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時や事故対応のマニュアルを揃えている他、研修への参加、パインの森勉強会の題材としている。又、緊急連絡体制の周知徹底に努め併設パインの専看護職員や隣接特養連携看護師との連携体制も整っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	最近の災害の多さと来年度より施行するBCP計画に向けて、計画を整備し、避難に備える。月1回の入居者との初動訓練には火災だけではなく、大雨や浸水、地震等へのシュミレーションも加えていく。	現在進行形でBCP作成の経緯を外部評価で説明した。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	来年度のBCP計画完成の際は運営推進会議で詳細の報告行っていく。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライベートゾーンへの配慮、必ずノックをし了承を得てからの入室、又意思を表出しにくい方への思いの汲み取りの工夫、排泄声掛け等羞恥心への配慮はもちろん、個人情報保護法の観点への配慮も行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーの侵害は虐待、身体拘束に繋がる。もともと、職員一丸となって行っているも、コロナ禍で室内にこもる生活をしてきたが、今後規制緩和された事により施設の「見える化」に努める。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で感染予防の為の決め事で抑えていた希望もあり、約3年で溜まったストレスを解消する為、今年より徐々にではあるものの、必要に応じた感染予防をしながら行っていく。			コロナが始まって約3年を経て、今まで職員共々規制がかかり、過ごしにくい毎日を送ってきたが、ある程度の感染予防対策や規制は必要としながらも、入居者の希望を叶えていく事とする。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、希望食への対応、寿司の日や弁当の日、希望により栄養士へ依頼しメニュー変更をする。好評である漬物作りの再開も行う予定である。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外でのバーベキュー中止の代わりに、室内でホットプレート使用し、バイキング行った。皆さんのワクワク、生き生きとした表情が印象的であった。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午前午後のおやつ時間に本人の嗜好する飲み物の提供、又水分量を毎回チェックし把握、水分不足気味の方への声かけや、スムーズに飲める工夫をする。又、食事に関する問題点については管理栄養士に都度相談しアドバイス頂いている。クックフリーズ導入により入居者へのケアが手厚くなった。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔加算を算定するにあたって口腔ケアの必要性を職員全員理解し、入居者全員にも周知し毎食後の声かけやケアの介助を徹底、清潔保持しながら食事前には口腔体操を行い誤嚥防止の取り組みを行っている。口腔内の不具合があれば、歯科にすぐ連絡し往診、治療、ケアのアドバイスを頂いている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔内の不具合にはすぐ久米田歯科医がかけつけてくれている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回の排泄時間を記録し入居者一人ひとりの排泄パターンから本人の排泄感覚を把握し、定期的な声かけや早めの誘導、介助にて失敗のない排泄環境に努めておりおむつ外にも積極的に取り組みご家族様の経済的負担軽減を図る。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本は週2回必ず、殆どの入居者は1日おきの入浴であるも、毎日入浴可能である為、その日に合った提供できている。その人の入浴日や職員都合に捉われず選べる入浴となる。一人でゆっくり入れる環境であかすりもやっている。長湯の方の体調の確認や入浴拒否にも合った対応を行う。			全て本人の希望に沿っているも、風呂嫌いの方へは、気が乗るような声かけと信頼関係を築く事で気持ちよく入ってもらえる様日々援助している。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間の安眠を促す為、夜眠れない方には日中活動的に過ごしてもら様援助したり、疲労感見られる際は臨機応変に休息する時間を設けているも夜間の睡眠時間に影響されない様適度な休息とする。			
34	服薬支援	一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬の処方箋を綴るファイルを置き、いつでも確認できる状態にある。又、服薬変更時は職員全員と看護師へ申し送りし、状態変化にも注意している。又、連携看護職員管理、指示の下、職員3段階確認の上で本人手渡し、服薬終えるまで見守りとしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬事故のない様、今後も細心の注意を払っていく。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の役割があり、本人のペースで作業や活動の提供をしている他、自治会や回想法で出た意見や嗜好を尊重し本人のやりたい事食べたい物、昔行っていた事の復元、漬物作り、その他の作品作り等QOLの向上に努めている。	入居者が話していたコロナ禍での施設生活について、「毎日同じことの繰り返しである」と意見があった事を伝える。改善策として歩いて数分の角のコンビニへ行ってみるとか敷地内を散歩するとか同じ食事でも外でピクニックみたいに食べるのもいいのでは？とアイデアがあがった。		残り少ないと思われる人生の舞台を楽しく飾る事ができるように、毎日を共に過ごしていきたい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	花見ドライブや地域小学校の運動会見学に行きドライブには途中の寄り道をソフトクリームを食べたくて感動した。今年夏まつりと題し、隣接特養、併設小規模多機能ホームと合同で交流会行う予定である。	以前は意見が出たその日に外出したり、急に決定して目標の場所に向いたりしていたがコロナの影響で現在殆ど外出できていないものの、自治会はコロナ禍も続けてきたため意見を聞きながら、運営推進会議メンバーの後押しもあり、外出し気分転換を図った。		戸外に出向き、外の空気を吸う、風や日光に当たる、人を見る、自然に触れる事がどんなに良い事がコロナ規制緩和で身に染みて感じた。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の力量に合わせて自己管理している方がいるものの、入居前から家族に任せている方が大半なので殆どの方が金庫預かりしているものの、買物代行で希望は叶えられている			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不安な事や気になる人への電話やその取次も都度支援している。都度、希望に沿った援助行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有スペースは家庭的な雰囲気を保てるよう配慮し物音や声、テレビ、音楽の音量も不快のない適度な物、又、採光性も良く季節や天候、時間の移り変わりの変化が分かり易い様工夫し、温度湿度計にて調節する。又、集中して食事ができる様、テレビではなく音楽やラジオを流し落ち着いた雰囲気ですり、季節の物を飾り入居者の五感を養う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

**IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）**

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以前は行きたいところの希望を取り、遠い所は十和田湖まで行った。近年コロナ自粛にて外に出ない日が続いたが今年度は行動範囲を広げていく。自治会やマンツーマンでの会話、普段の入居者同士の何気ない会話の内容も大事にし、情報から希望を探り職員間で共有していく。			今までのコロナ規制にて、会話も十分にできない生活、家族にすら会えない日々があり、我慢を強いられてきたが、徐々に緩和され皆さんの笑顔が戻った。運営推進会議でも皆さんの笑顔を取り戻すアイデアをたくさん出してもらい実行した。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の細かなアセスメントや本人との会話、又、ご家族様や面会に来た知人からの情報を大事にしたり、回想法などで思い出した情報などを元にケアプランにて反映させたり、フェースシートで職員全員共有しケアに反映させている。			回想法での昔を語る皆さんの生き生きと流暢に話す姿が輝いていて素敵だ。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望通り、入居後も馴染みの主治医への受診を基本としているも、本人又は家族の希望にて嘱託医へ主治医変更とする際は情報を集め、先生へ細かな申し送り連携を図っている。毎朝のバイタルチェック、異常時の再検、ナースとの連携、主治医の連絡も素早く対応、早めの受診を心がける。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にアセスメントや面談等で本人の生活ペースを把握、出来る限り自宅での暮らしや環境を変えずに生活出来る様支援、但し特別理由がない場合の食事は3食とも、全員同じ			食事を共にする事で9人全員に万遍なく目を向けられる、会話を楽しみながら食べられる、時間の配分が自然にでき認知症進行予防となる。

				時間に同じスペースで撮り、孤立防止、見当識の維持を図っている			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまで使用してきた物を持ち込み、なるべく新しい物の購入を避けて頂く。過去には、夫の位牌と写真を部屋に置き簡易的な仏壇へ毎日ご飯とお茶をお供えする習慣を身につけ、認知症進行防止としている。物盗られ妄想防止や自立支援の観点から自分の物は自室に置く事とし洗濯物も部屋に干している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の自治会で出た希望はすぐ実行できるものは実行したり、後日予定を組んで外出したりしていた。近年コロナ禍で自粛していたが徐々に回復している。	自治会で出た意見を尊重し、嶽ドライブやバイクンク食事会のメニュー、ソフトクリームやきみなども食べたが、まだまだ以前のように戻れていない。		徐々に活気あるパインの森に戻りつつ、外出や行事も運営推進会議にて報告出来るようになって良かった。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれに役割があり、毎日の日課としている。下膳や洗濯たたみ、洗濯干し、自室やリビングの掃除機がけやモップ、テーブル拭き、食器拭き等の手伝い、自治会での発言、提案など互いに助け合って暮らしている。ゲームや軽い運動、体操も行っている。			本人にあった作業の提供を出来るだけ続け、今出来る事を明日また行い同じ毎日を通り過ぎ生きしてもらいたい。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日午前は新聞読みで、世間のニュースで認知症進行防止とし、軽い体操も兼ね全員での活動や脳トレを行いほぼ毎日全員が参加、午後は個別に好きな活動を行っている。作業や活動を行いながらの会話も大事にしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日午前には新聞を職員が読みながら皆さんはおやつとコーヒーを嗜む。その後体操、ゲーム等の活動をする。月1回回想法、おやつ作り、代替え食、弁当の日の他、午後は個別で貼り絵や塗り絵、折り紙などの創作活動を楽しんでいる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は運営推進会議メンバーとの食事会、バーベキュー等も行い、又敷地内で行われる地域交流会の参加にて色々な方とも交流出来ていた。今年度より徐々に再開しドライブ、夏まつり、町内行事の参加等も行う予定である。	今回、町内会からのお誘いあり、来年度も継続してくれるとの事であり、積極的に向かいたい。		今年町内会の夏まつり参加する。来年度は参加に向けて準備も整え、大勢で参加したい。又、施設の夏まつりにも招待したい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の表情等で判断する事しか本音は聞き出せないものの、コミュニケーションを大事にし、毎日笑いが絶えない賑やかなグループホームです。	今までもそうであるが、これからも運営に協力して頂きたいと思っております。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望、要望、時には不満があればいつでも話しやすい環境である様配慮し、時には運営推進会議メンバー様にも協力して頂き、時には地域の方を巻き込みながら、「開けたグループホーム」となる様日々努めていきたい。